放射線安全工学　第9回(資料p15まで)　演習課題　22221280　渡辺悠斗

1. 放射線荷重係数

それぞれの放射線のエネルギーに基づいて定められた無次元の係数であり、低線量域での種々の放射線でのRBFに関する多くの測定データを基に決定されている。人体の影響度合いを表すシーベルト(Sv)は、物理的な量であるグレイ(Gy)に、各放射線荷重係数をかけることで求めることができる。

2) 組織荷重係数

同じ等価線量でも、感受性が異なることから、放射線にあたる臓器(組織)によって影響が変わるので、それぞれの組織によって影響を受ける度合いを表した係数である。実効線量は、等価線量に組織荷重係数をかけて求めることができる。

3) ベルゴニー・トリボンドーの法則

組織ごとに感受性に差異があるという法則で、放射線感受性が高いのは、

１．細胞分裂頻度が高いもの　２．将来の分裂回数が多いもの　３．形態や機能の未分化なもの　であるということを示している。